☆春パージョン

こちょうらんの育て方

初春から初夏まで(3月下旬~5月末まで)



会良い置き場所○一部屋の中の温度差の少ないところ。

できれば風通しの良いところ。春は玄関、廊下、窓際に置かれても良い。(15℃以上が最も良い。) (例) 居間、オフィス内、マンション内ならどこでもOK(温度差が無いため最適)。

*置き場所はあまり変えないほうが良い。置いた場所の環境に胡蝶蘭が慣れてくるため。

○ 悪い置き場所 × 一直射日光が当たり過ぎる場所。

窓際などは光が当たり過ぎるので、レースのカーテン越しや少し窓から離しておいてください。 外は直射日光が当たりやすく、突風や害虫などの被害も受けるので、外には置かない。

☆ 水やり一水は月に1~2回。タップリ与えてしっかり乾かす。

出荷時は水を与えていますので、2週間後にラッピングを外してタップリと与えてください。 その後は、鉢の中の奥の方まで乾いていたらあげてください。湿っていたらあげてはいけません。

*ポイント→2週間おきぐらいに、指を鉢の中に2、3cmほど突っ込んでみて、

湿っているようであればまだ与えてはいけません。乾いているようでしたら、

タップリ与えてください。水やりはメリハリが大切です。(タップリ与えて、しっかり乾かす。)

病院など日中も夜間もエアコンが常に入ってる所、常時 20℃~ 25℃

温度が保てるところは良く鉢が乾きますので、2週間毎に1回タップリお水を与えてください。

→ 霧吹き一天気の良い日の午前中に1回(できるだけ毎日)。

湿度を十分に保つため、正午までにスプレーでお花全体に吹きかけてください。

『花』…花の裏側からスプレーしてください。(表から吹きかけると受粉して花が落ちるため)『つぼみ』…花を咲かせるために、水・湿度を必要とするため、直接スプレーしてください。 『葉』…しっかりスプレーしてください。葉の全体からも水分を吸収します。

胡蝶蘭は湿度 60%の環境を好みます。スプレーノズルを調節して細かい霧になるようにして、 50 cm~1メートル離れたところからふんわりと与えてください。

○ 肥料 一花が終わった後に与える。(上級者のみ)

花が咲いている時は与える必要はありません。お花が終わったら、ハイポネックスの原液を 2000 倍に水に溶かして、週一回たっぷりと与えると良い。(肥料をやり過ぎると根が傷むので注意。)

クマサキ洋ラツ農園

〒753-0212

胡蝶蘭販売ランノハナドットコム 山口県山口市下小鯖2073

電話番号: 083-927-0902 FAX: 083-927-0201 mail: info@rannohana.com

HP: http://www.rannohana.com

検索









ユーチューブYOUTUBE クマサキ洋ラン農園オリジナル 春の育て方動画配信中!

クマサキ